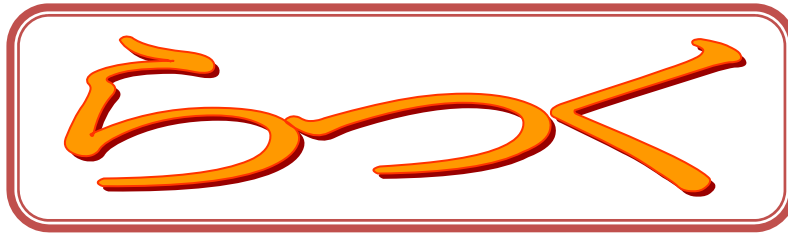


KYOTO RAKUCHU Y's Men's Club
ワイズメンズクラブ国際協会／京都洛中ワイズメンズクラブ・ブリテン（会報）



2020年
6月号
通巻
302号
偶数月発行

Club Office 〒604-8083 京都市中京区三条柳馬場角 公益財団法人京都YMCA内 Tel 075-231-4388
発行人 京都洛中ワイズメンズクラブ ブリテン・広報事業委員長 河辺 利晴

2020年6月号の聖句

あなたがたを襲った試練で、人間として耐えられないようなものはなかったはずで
す。神は真実な方です。あなたがたを耐えられないような試練に遭わせることはな
さらず、試練と共に、それに耐えられるよう、逃れる道をも備えていてくださ
います
コリントの信徒への手紙一 10章13節

残念ながらコロナウイルスの影響で私たちの行動は制限されました。しかし今、私たちの心の中
にぶら下がっていることや、ずっと輝き続けている事を声を出して伝える事が、周りの誰かの支え
になったり、動き出すヒントになればとメンバーに思いを書いて頂きました。

必ず、あの時は大変やったなと話せる時はきます。それまでもう少しです。

コロナ感染異常事態の今思う事 会長：荒木恒夫

新型コロナウイルス感染拡大による我慢の生活。
自分の身や家族、友人の事を思い極力外出を控え
手洗い、うがいに気を配る。然しそれぞれが取り
返しのつかない色々な事を失った・・・

家族や友人を亡くした方、4月から揚々と胸躍
らせ就職・入学・入園それぞれの世界で楽しく活
動するはずだった人々。周りから祝福され結婚式
を挙げられる予定だったカップル・・・計り知れ
ない多くの人々の掛け替えのない時間を奪った。
私も、不要不急の外出を控え最小限の営業活動に
留めている。普段の昼食は凡そ12時から14時

と仕事の都合で不規則、食事と休憩だけが、時
節柄テレビを見てコロナ情報に見入る。どこの局
のキャスターも口をそろえて政府の対応の拙さ・
遅さに言及している。毎日、不満は増えるばかり
で解決して少なくなる事は無い。これを書き始め
た頃からすでに2週間以上経ち、ふと気が付けば、
コロナウイルスに侵されるより不満の塊病になっ
ている・・・とっても嫌な輩。まだ届かないけど、
例のマスクが届いて現物を見たら又激怒するの
かなあ。届かなくても良いと思いつつ、届かなか
つたらそれで又激怒か。あ～あ やだやだ

洛中ワイズメンズクラブ 西村和真

コロナウイルスによって世界全体が大きなダ
メージを受け、我々も日常生活を奪われています。
ある人は人類への警告と言ひ、新たな生活様式を
確立することを国も提案しています。しかし、そ
んなことを考える余裕もなく、まずは今日を生
き抜くことに必死になっている人々がいるのも
現実です。私は、人として、職業人として、そし
てワ

イズメンとして何をすべきなのかをこの機会に
色々と考えています。すべてのことを見つめな
おす時間を与えてもらってると思っています。そ
して、皆さんと会ったときにこの時間が停滞し
ていたのではなく新たな何かを生み出せること
を本当に楽しみにしています。

洛中クラブ コロナブリテン 中川茂雄

コロナは厄介なウィルスですが、見方を変えれば普段言葉では伝えられない事を発信出来るいい機会だと思います。ブリテン委員長ありがとうございます。

ワイズ歴が一番長い河辺さんと、おられるだけで場が和む室田さんが今限りで退会意思を出されました。心ある方が洛中クラブからどんどんと去って行かれます。残念でなりません。一時期は50名を超えていたメンバーが現在では15名程になったのはどうしてなのでしょう。洛中で何度か話し合ったようですが、メンバーの多くは大人の対応をされ、核心に触れないように感じます。波風を立てずに穏やかなクラブライフを送る。いいことかもしれませんが、その結果現在のメンバー数になったように思います。私が知る退会者の

思いは、やめたくてやめる方ばかりではなく、やめたくないけどやめる！と言う方も沢山おられます。退会されても色々な活動に協力頂き、一人では出来ない社会貢献への思いがあるからではないでしょうか。では、どうして退会を選択されたのでしょうか。

仲間を大切にしていたか！表面的な付き合いや体裁を重んじなかったか！ 少しの思いやりはあったか！ 人生の余暇を楽しく過ごせる仲間であったか！ 等が重要な部分のように思います。誰かがおっしゃっていました。このような発信をすると批判を受け、それが非難になり肩身が狭くなるから誰も発信しないのだと。私のような中途半端な人間だから発信出来るのかもしれませんが、ずっと思い続けている素朴な思いです。明日晴れる事を願って！

集うことの大切さ 書記：山中將平

約40年前ウエストクラブに入会し、その後洛中クラブを設立し、月に数回、例会やワーク、役員会に参加し、メンバーと顔を合わせる事が当たり前になっていました。仕事柄、異業種の方と接することが少なく、出会いを求めていたことがワイズへの入会のきっかけでした。

ワイズでの交流が他クラブのメンバーにも拡がり、貴重な財産となっています。しかし、突然のコロナウィルス感染拡大でクラブの活動は勿論、YMCA、京都部、西日本区の活動が次々に延期、中止となり、日常であったメンバー同士の交流もほぼメールや電話だけになりました。個人的にも、仕事でも、会合、集まり、会食等ほぼすべてがなくなり、まさしく自粛生活となりました。ワイズという共通点がなくなるとメンバー同士の電話、メール等も少なくなってきました。仕事関係も来社、

訪問が半減の状態となりました。会話が少なく、外食、飲み会がほぼない状態が続くとこれほどストレスが溜まるのかと改めて感じています。目の前の仕事を片付けるだけでは張り合いもなくなると感じました。世の中も人間関係がギスギスして、トラブルも増え、限界に近い状態でした。それでも流石に日本人、本当によく自粛したと思います。京都も緊急事態宣言がやっと解除され、徐々に普段の生活が戻ってくると思いますが、短期間に身に付いた他人との距離を取り、極力接触を避ける習慣がすぐにはなくならないような気がします。早く周囲を気にせず、みんなと集まり、心行くまで飲んで、語り合える世の中になることを楽しみにしています。キャンセルした旅行等もできるだけ早く行ってストレスを発散できればと思っています。

山内さん

ながい人生の中では、いろんな事を経験しなければ成らないんだなあって感じています。

会計：大本正夫

来年私は、古代稀なりの古稀(70歳)になります。今は人生100年と言われるようになりました。同期の連中と集まるといつまで現役でいるのかという話が出てくることが多くなりました。

若い頃からの貧乏人根性が染みついて、ゆっくりすることに罪悪感があり、少しゆとりをもらって若い連中の中で働いていることに感謝しています。自分の父が亡くなった年齢に近づいてきたことは、意識の中に常にあることで、天台宗の大阿闍梨の「一日一生」 静かな覚悟として一日を大切に

に生き、何があっても慌てふためくことがないようにと思っています。100年人生と考えると、50歳までは登山で言えば、ただひたすら頂上目指して、後ろを振り返る余裕もなかったものが、今度は景色を楽しみながら下山を楽しむ そんな状況になれば理想的だと信じています。自分ファーストで、「義理」などは出来るだけ後回しにして「一日一笑」 を大切にしたいと感じています。色々な人と巡り合えて、楽しくおもしろい人生だったと思えるような生き様をめざします。コロナに負けてたまるかです。

副会長：太田雅彦

今回寄稿の良い機会を得ましたので、私の入会以来の人事配属履歴をこの場を借りて書き留めさせていただきます。

▶1988.1.10 チャーターナイト、ワイズ初代会、交流委員 ▶1988.7～交流副委員長 ▶1989.7～交流副委員長 ▶1990.7～EMC委員 ▶1991.7～ファンデ委員 ▶1992.7～ドライバー委員 ▶1993.7～EMC委員長 ▶1994.7～副会長 ▶1995.7～Yサ副委員長 ▶1996.7～ドライバー委員 ▶1997.7～CS(現：地域奉仕/環境)委員 ▶1998.7～ブリテン副委員長 ▶1999.7～ブリテン委員長 ▶2000.7～書記 ▶2001.7～Yサ委員長 ▶2002.7～副会長 ▶2003.7～会長 ▶2004.7～直前会長

▶2005.7～書記 ▶2006.7～地域奉仕/環境委員長 ▶2007.7～ブリテン委員長 ▶2008.7～書記 ▶2009.7～京都部書記 ▶2010.7～会計 ▶2011.7～会長(2回目) ▶2012.7～直前会長 ▶2013.7～副会長 ▶2014.7～副会長 ▶2015.7～書記 ▶2016.7～京都部Yサ主査 ▶2017.7～ブリテン副委員長 ▶2018.7～ブリテン委員長 ▶2019.7～副会長 ▶2020.7～副会長、メール委員

これらを振り返りますと、ほとんどの部署の配属を経験させてもらい、また、ワイズならではの多方面の人々や組織と交流でき、41歳からの自分にとって盛んな時の、人生にもう一つの柱が備わってくれたと強く感じ入る今日この頃です。

京都YMCA 藤尾実

コロナ禍は、私が生まれてきて、自分が実際に体験した中で阪神・淡路大震災以来の、未曾有のできごとです。震災は現地にて被災し、避難生活もおきました。

このコロナ禍は今、実際に体験はしていますが、避難をしたわけでなく、目の前で生死をさまよっている人を目にしているわけでもないですが、現実には世界で亡くなられた方も多数おられたり、医

療現場や様々なところで苦難に合われている方々が無数におられ、そして長期化すると言われていきます。

YMCAは何をすべきか、自分は何をすべきか、考えていますが、答えがでない日々です。

そんな中、少しでも希望が見いだせる、希望を感じることができる、何かに取り組んでいきたいと思えます。

坂井昇

みなさま、いかがお過ごしですか。まさかこんなことが人生に起こるとは思いもしませんでした。世界中で感染症が一気に広がるとは何ということでしょう。我々の生活も根底から覆されました。

今までワイズの仲間たちと楽しいことや、ボランティアにと活動していたのがウソのような日々です。一日中アトリエでテレビを見たり、絵を描いたり、本を読んだりして過ごしています。

しかし徐々に世の中も動き出したようです。まもなく奉職している洛陽総合も授業が開始されます、新たな生活様式でまた世間に飛び出したいと思っておりますが、果たして如何に・・・。ま

あ持ち前の「どないかなるやろ」の精神で頑張るつもりです。

メンバー諸氏も、年齢は上がってきてはおりますが、設立当時の『楽しんで志を貫こうの』精神でまたやりましょう。次期会長『山内君を男にしてやろうぜ』ここで我々が引いてしまったら今までの友情がすっ飛ばんじやうやん。こんな時期こそみんなで助け合ってワイズに・仕事に・人生に最後の輝きをはなって『コロナごときにやられへんぞ』の気持ちで頑張りましょう。皆様と笑顔で再会できる日を楽しみにしております。くれぐれも身体にはお気を付けてください。

2020年6月に思う事 大野信幸

新型コロナウイルスは世界の人類に与える試練かな？と思う。この二ヶ月、当たり前の通常が大きく変貌した。仕事では出張が無くなり、着物販売が出来ません。秋に備えて新作をと思うも在庫が多くなり中途半端な作品に。人との接触を極端に控えて京都の工場に籠りきり、そのお陰で50有余年の仕事の垢ゴミ屋敷の事を批判できない工場の中、実は、私が仕事をしている板場は二階の専用(背が高い為の作り)一階は職人さんが居たときの作業場なので、今は物置状態。粗方整理ができ、ゴミが45リットルの袋に毎回6ケ。母屋と工場の中に中庭があります、ブロック壁に杉皮を張り、大きな庭石をチェーン吊り上げで設置、アヤハの土を30ケ、杉苔をはり、赤毛氈の床几。完成！

作業中にも一番悶々としていた事は、1:アベのマスクの中途半端、2:モリカケ問題、3:桜を見る会、4:検事長定年延長問題、5:黒川氏の訓告問題、6:妻の横暴、安倍はすべてに於いて責任を痛感している責任を取ると言いながら逃げる、醜い態度を取って居ても素知らぬ顔、責任転嫁、許せ無い！。元々出来の悪い二世議員、麻生も含めて変に力を与えてしまったから、物事頭目線、支持率が下って漸く一般市民も、安倍おろしに入った。遅い、モリカケ問題で落として行くべきでした。大阪検事局を動かしたのは黒川検事長でしょう。安倍は、黒川検事長に喋られては籠るので退職金を7000万の訓告にしたのでしょうか。全ての事が安倍の一存でできている事。頭の悪い大野でもこの理屈が理解できるのに、皆様は悶々としてますか？

その夢、買います 土屋順敬

この度の行動自粛では、夢でもみてなさいとゆうことでしょう。
そこで、夢の話をお話しします。



夢合わせ

見た夢を考え合わせて吉凶を判断することで、夢占い、夢判じ、夢解きなどとも言います。

古代から、夢は神のお告げ、将来を暗示するものと、信じられていました。

日本書紀には、見た夢によって、次に即位する天皇を選んだ例もあります。

驚いたことに、いい夢を、取ったり、買ったりすることもできたそうです。

北条政子は、妹が見た「高い山に登り、太陽と月を左右の袂（たもと）に入れ、蜜柑（みかん）の実が三つついた枝を髪に挿した夢」を買い取って、尼将軍にまでのぼりつめたのでした。（「曾我物語」）

どうやったら人の夢を取ったり、なんぼで買うのかはさておき、土屋流の勝手な解釈をいたします。

[高い山はシンボルです。頂上からは人を見下せます。太陽は昼の支配者、月は夜の支配者です。実が三つとは、現代で言うと立法・司法・行政の事でしょう。ですから世の中を好き放題にできるのです] あな恐ろしや独裁者。

心の底から信じた夢は、必ずかなう・・・・・・・・。

夢のお告げを自分のものにできたという確信が、将来の夢を実現する大きな原動力になったのでしょ。う。
（「美人の日本語」竹下景子著参照）

2020年5月に思う ブリテン委員 河辺利晴

ボブディランの曲に、『吠えている犬に説教したら、途端に自分が己の敵になる。』『混乱した船に私は先導され、船尾まで反乱が起きていた。私たちが騙し、守るものがあると思わせ続けた。』『私は善悪という言葉は何とか間違いのないようにしっかりと定義した。』という歌詞の曲がある。この歌は私達の居る人工社会、人間社会、私たちを含めた自然環境あらゆるものがこのままで良いのか。

と問いかけている。しかしその後、ディランはこの様に続けている、『だけど当時の私は古い考えで今の方がずっと柔軟で若い。』最後はあらゆるものを認め、今ある自分が自然体で一番好きである。そんなことを言っている様な気がします。今、私自身も全くディランと同じ心境です。自然体の自分が大好きです。